

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 8 号	
件 名	1 月 2 4 日 の 今 季 最 強 の 寒 波 や 除 雪 対 応 等 に つ い て	
要 旨	<p>土木総務課は、1月23日に市民に大雪となる備え、可能性について、予報をホームページで発表。10年に1度の今季最強の寒波、この冬初めての積雪20センチメートルオーバー、午前11時の降雪量。朝からがたがた、凹凸路面が多発、圧雪もあり幹線道路が大渋滞して生活道路に進入、毎年の冬の風物詩です。残念なことに、土木部が市民に大雪情報を発表（参考資料あり）しても、中央区建設課は、当日24日は13時以降に登庁。他区や業者に確認したら、早朝除雪や当日午後、除雪をしているとお聞きしました。しかし、中央区はいつもの決まり文句、危険だから夜間作業を予定、実施の繰り返し。10年前と全く同じ体制、他区は渋滞の解消、すいている道路の除雪（路線）、市民の声を聞いて日中、昼中に除雪をしている。</p> <p>土木部からも、23日夜間から下越で40センチメートル予報等が公表され、マスコミも盛んに寒波について報道していました。土木部と中央区建設課は、大雪で原発事故、津波等、複合災害が発生したら、長岡方面からの避難住民、大型バス、一般車両の受入れを冬季はどのように実施するのか。今までと同じように夜間除雪のみ実施、昼中は危険だから除雪はしないというのでしょうか。どのように調整して県や国に報告しているのでしょうか。シミュレーションがあるのか、ないのか知りたい。</p> <p style="text-align: right;">（次頁につづく）</p>	
付 託 年月日 委員会	令和8年2月17日	第1項 } 第11項
受 理	令和8年1月28日	第563号
		環境建設常任委員会

駅前から東区方面行き、東区から新潟市役所行きや駅前行きのバス路線、万代町や沼垂の一部路線で大型車の擦れ違いができない。新潟交通さんにも確認済みです。区の建設課は業者と契約するときに、道路幅が狭いとき、図面でどこからどこまで除雪するのかを説明していない。だから、新日本海フェリー大型貨物車両とバスの擦れ違いが支障を来す、渋滞の原因をつくっている。バスの運転手が降りて、雪かきをしていました。支障があるのに、パトロール基準もないのに、毎年この路線はここが原因でバスがストップしている。市役所は問題ないと言う。

おかしなことに、土木部は、除雪作業は新雪除雪が基本と言う(参考資料あり)。新雪除雪とは、24日早朝、日中みたいに路面の雪が圧雪になる前に除雪すること。雪が軽くて軟らかい、高速作業が可能、一次除雪、初雪期除雪というのに新潟市は全く違う。土木部は、かき分け除雪と新雪除雪を同じと資料で掲載。かき分け除雪は圧雪された、硬い、重い雪の山、塊を玄関前、駐車場前に、路肩に雪壁を置いていくことと言っている。そもそも、土木部の言うかき分け除雪は厳冬期除雪です。圧縮でかちかちに凍結、新雪除雪とかき分け除雪は全く違います。

よって、以下のことを陳情いたします。

(次頁につづく)

記

- 1 バス路線で道路幅が狭い箇所は、拡幅除雪を実施し、業者、交通機関、行政で正直に情報を共有すること。
- 2 資料、パンフレット等で、除雪は5センチメートル、10センチメートルの積雪があったら行くと市民に公表しているのなら、天気予報を見てからと言わないで、現実、現状、公表基準の積雪があったら、除雪車を出動させること。
- 3 マスコミ、土木部が最強寒波と言うならば、中央区建設課は24日、13時以後に登庁せず、除雪体制シフトの見直しを必ずすること。
- 4 中央区は、他区並みに日中、昼中も除雪体制を組むこと。
- 5 除雪契約業者の判断で除雪出動ができるよう、契約の見直しをすること。
- 6 生活道路でも幹線道路並みの交通量のあるところは、幹線道路並みに除雪をすること。
- 7 生活道路は二車線を一車線に確保する除雪と言うが、除雪後は一方通行にするのか、または譲り合いの場所を確保して除雪するよう業者をお願いしているのか、市民に公表すること。
- 8 大雪になる場合、一般的に幹線道路から生活道路に車両が進入するシミュレーションをすること。
- 9 交差点や横断歩道の両側の雪の山を早急に撤去すること。
- 10 一次除雪後の二次除雪、拡幅、排雪を分かりやすく公表すること。
- 11 新雪除雪とかき分け除雪は作業内容が違うから見直しをすること。